

(2)農業の高付加価値化

農産物の高付加価値化のため農産物の品質向上などに加えて、食品事業者との連携、農産物の加工や販売、食と多彩な地域資源を生かした取組を推進しています。

【6次産業化*の取組】

①6次産業化総合化事業計画の認定状況

国による6次産業化総合化事業計画の認定数は、本県で58件となっています(令和3年2月26日時点)。

全国では2,585件が認定されており、本県は全国第19位となっています。

②農業者の取組の発展段階に応じた支援

新たに開始する6次産業化の取組に対して、アグリフードビジネス支援事業により加工機器などの導入を支援しました(2件)。

さらに、6次産業化による経営改善を支援するため、栃木6次産業化サポートセンターを活用した6次産業化実践アドバイザーの派遣や人材育成研修等を行いました。

*農業者が生産(1次産業)に加え、加工(2次産業)、流通・販売(3次産業)まで一貫して手掛ける取組(1次×2次×6次=6次産業化)

6次産業化総合化計画の認定状況
(R3.2.26現在)

(単位：件)

順位	都道府県	認定数
1	北海道	163
2	兵庫県	119
3	宮崎県	113
19	栃木県	58
20	茨城県	57
21	千葉県	56
25	群馬県	43
36	神奈川県	33
43	埼玉県	22
46	東京都	20
全国		2,585

市町別6次産業化総合化計画 認定数一覧
(R3.2.26現在)

(単位：件)

順位	市町	認定数	順位	市町	認定数
1	宇都宮市	9	14	佐野市	1
2	那須町	7	14	鹿沼市	1
3	小山市	5	14	真岡市	1
4	大田原市	4	14	那須塩原市	1
5	足利市	3	14	さくら市	1
5	栃木市	3	14	那須烏山市	1
5	益子町	3	14	下野市	1
5	壬生町	3	14	芳賀町	1
9	日光市	2	14	野木町	1
9	矢板市	2	14	塩谷町	1
9	上三川町	2	14	高根沢町	1
9	茂木町	2		市貝町	0
9	那珂川町	2	合計		58

令和2年度アグリフードビジネス支援事業採択一覧

No.	事業実施主体	事業取組概要
1	有限会社卵明舎(宇都宮市)	製菓機器による卵を使用したシュークリーム及びチーズケーキの製造・販売
2	株式会社ミルクベリーガーデン(大田原市)	冷凍設備の導入による冷凍いちごの加工、商品ロゴ制作及びオンラインショップ開設運営による販売促進

事例 那須地域の農産物を活用した魅力向上講座を開催（那須地域）

令和2年11月10日、TOKO-TOKOおおたわらにて、農産物や生産者の魅力を伝える写真撮影技術の向上とSNSへの発信方法や、地元野菜を使ったブーケ作りを学ぶ、那須地域の農産物を活用した魅力向上講座を開催しました。

県内を中心に活躍されている写真家柴 美幸氏(STUDIO CORD 代表)を講師に招き、ちょっとした工夫で上手に撮影する技術やコツを学びました。

さらに、那須地域の農産物を題材に、撮影機器の使い方や光の当て方の違いによるイメージの変化などを詳しく教えていただきました。

講座の参加者からは「写真の善し悪しで商品の印象が大きく変わってしまう」、「撮影のポイントを気にしながら商品のPRをしていきたい」などの感想を聞くことができました。



料理撮影の実演(右手前が柴講師)



地元野菜を使ったブーケづくりの様子

(3)農産物の輸出拡大

「とちぎ農産物輸出戦略(平成28年2月策定)」に基づき、オールとちぎで県産農産物の輸出促進に取り組んできたところ、輸出額は右肩上がりです。平成30年度には過去最高の3億6,900万円まで伸びてきました。しかし、令和元年度は天候不順によるいちごの生育不良や新型コロナウイルス感染症の影響等によりいちごや牛肉の輸出量が減少し、輸出額は3億1,100万円と8年ぶりに前年度を下回りました。

令和元年度までは、県産農産物をPRするため、アジアや北米、中東などの国や地域でプロモーションに取り組み、輸出拡大を図ってきましたが、コロナ禍にあっては海外への渡航や店頭での試食などが制限され従来の取組が困難なことから、コロナ禍でもPR可能なデジタル技術の活用を力を入れました。

とちぎ和牛、とちぎの星、にっこり、スカイベリーなどの県産農産物をPRするため、海外向けPR動画を英語、中国語、タイ語で作成・発信するとともに、PR動画を見た方が詳細な情報を入手できるランディングサイトとし



海外向け情報発信サイト